

「チャレンジする中小企業 アシストする中小企業診断士」

診断かがわ

2015年 新年号 NO. 64号

(2015年1月10日発行)

[主要目次]

- ◆ 新年のごあいさつ・・・・・・・・・・ 1
- ◆ 理論政策更新研修・・・・・・・・・・ 2
- ◆ 乾杯!!アサヒビール四国工場見学会・・ 3
- ◆ 新入社員フォローアップ研修・・・・・・・・ 5
- ◆ 異業種交流管理者研修・・・・・・・・・・ 6
- ◆ 四国ブロック会議 in 愛媛・・・・・・・・ 7
- ◆ 中国四国エリア合同研修会・・・・・・・・ 8
- ◆ 管理者課題別研修「財務力」・・・・・・・・ 9
- ◆ 経営コンサルタント養成講座・・・・・・・・ 10
- ◆ 新入会員自己紹介①・・・・・・・・・・ 12
- ◆ 新入会員自己紹介②・・・・・・・・・・ 13



「異業種交流管理者基礎研修」
(2014年9月20日・21日開催)

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402号

TEL 087-814-6456 FAX 087-840-0321

ホームページ <http://www.shindan-kagawa.org>

メールアドレス mail8@shindan-kagawa.org

発行人	会長	山下 益明
編集人	広報企画事業部	梅澤 秀樹
〃	〃	立川 敦史
〃	〃	溝淵 善彦
〃	〃	森 昭博



新年のごあいさつ

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会長 山下 益明

新年あけましておめでとうございます。平素は協会活動に多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年をふりかえってみますと、記憶に新しいところでは師走に衆院選がありました。日本の未来を左右する国政を担う議員の方々には、国民の安定した暮らし実現のために、「志」をもって為政の衝に当たっていただきたいと考えます。

日本経済の再生には、中小企業の活力を取り戻すことが不可欠といわれています。我が国の中小企業は、企業数の9割以上、従業者数の6割以上を占め、日本経済の基盤であり、その動向は日本経済に大きな影響を与えてきました。

我が国経済の主要な位置にある中小企業を支援するため、行政ではきめ細かな施策が整備されていますが、こうした施策は残念ながら、すべての中小企業に対して認知されているとはいえないのが現状です。

ここで重視されてくるのが、われわれ中小企業診断士です。

診断士は、多岐にわたる経営課題に対処するだけでなく、行政機関と企業をつなぐパイプ役としての役割も期待されるなど、「成果をあげるための能力」の高さが求められています。

では診断士の「成果をあげるための能力」とは何か？さらにその能力・専門性を高める方法とは…？

このような背景のもと、連合会本部は「診断士の能力・専門性」を高めるべく、昨年に引き続き「中小企業診断士の人材育成」を重点事業のひとつとして掲げてきました。弊職の2014年は、この「診断士のお役立ち度(年間売上高)」を高めるための基礎づくりにエネルギーを費やした1年だったともいえます

経営コンサルタントの本質は、「周りから必要とされ、役に立ち、認められることで、世の中を良くする!」ことと認識しております。当協会は、「成長し続ける本物の経営コンサルタントを目指そう!」をスローガンに、独立診断士・企業内診断士の別を問わず「お客さまへのお役立ち度を高めることに焦点を絞るプロコンづくり」に真剣に取り組んでいる県協会を目指します。

中小企業診断士(会員)を対象とした人材育成は、当県協会のみに限らない大きなテーマです。

会員の皆さまの「成果をあげるための能力」を高め、能力開発に役立つ機会を数多くご提供することで、皆さまのお役に立つとともに、県協会の存在意義を高めていきたいと存じます。

皆さまには、入会のメリットを享受していただくためにも、当協会よりご案内する行事については、ぜひとも優先順位を高めてご参加たまわりたいと存じます。

引き続き、会員の皆さま方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆さま方のますますのご健勝とさらなるご活躍を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

「理論政策更新研修」報告

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
理事 梅澤 秀樹

標記の研修が 2014 年 8 月 9 日(土)サンポートホール高松で開催されました。

香川県の先生方をはじめ、近県の先生方も多数参加され、会場は大変な熱気でした。

今回のテーマは 2 つ。第一部は「新しい中小企業施策について」と題し、四国経済産業局産業部 中小企業課長 和仁秀幸さまから最新のお話をいただきました。第二部は「中堅企業 D 社でのものづくり改革・意識改革」をテーマに、愛知県協会の藤井春雄先生にご講義いただきました。

第一部「新しい中小企業施策について」では、最新かつ詳細な分析資料を基に、中小企業経営者の高齢化と起業・創業に対する意識の変化について、また事業承継に関するサポートセンターの設置の動きなど、最新の情報をいただきました。その中で、廃業についてのビジネスが見込まれることなど、我々中小企業診断士の今後のマーケットとなりうる事業分野の情報もありました。

小規模企業振興基本法案の概要の説明については、小規模企業の成長発展のみならず、事業の持続的発展にも重きを置いた法案であること等の説明がありました。

そのほか、中小企業・小規模事業者に対するきめ細やかな対応を目的として、よろず支援拠点が設置されることなどの説明をいただきました。

多岐にわたるご説明だったうえ、今回のテキストも日常業務の参考資料としても大変役に立つものと思いました。

第二部の「中堅企業 D 社でのものづくり改革・意識改革」については、藤井先生が実際に指導された企業の実例に基づいて、「改善」の重要性と「気づく人づくり」を最優先すべきであるとのアドバイスをいただきました。

改善の活発な企業は社員の問題意識も強く、向上心も高い、そのような社員を育てるためには各種のアイデアの発想法やディベートなどを活用し、考え・気づく力を育てていくべきであるとのお話でした。

確かに、企業がより良くなるためには経営者の強いリーダーシップと社員のやる気だと思われま。今後の企業指導にあたっては、この点にも重点を置いた指導を行っていかうと考えました。

乾杯！！アサヒビール四国工場見学会

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会員 大西 健永

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく御願います。

早速ですが、2014年の8月に参加しました、アサヒビール株式会社四国工場の見学会についてレポートします。

■ 出発の巻

お盆休み前の時期でJR特急列車が想像以上に混んでおり、デッキに行列のできる診断士軍団が立っているというシュールな光景でした。

■ 工場見学 of 巻



工場内を担当の女性社員の方にアテンドして貰いました。仕込釜や、ろ過室、びん詰・缶詰などの一連の工程を見ることができ、またホップ等の原材料や各種展示などに実際に触れることもできました。

一般参加では見学できない醸造室にも入ることで、ビール党の私には非常に貴重な体験ができました。

■ 研修会 of 巻

アサヒビール株式会社での生産性向上の取り組みについて講義を受けました。

面白かったのが全国の工場の部署対抗で生産性向上の大会をしているという点です。適度な競争が良い成果を生むための重要な要素だと改めて実感することができました。

天下のアサヒビールですら日々生産性向上の課題に取り組んでいるのですから、我々が常に関与している中小企業はもっと頑張らないといけないですね。

■ 試飲 of 巻



さていよいよお待ちかねの試飲です。工場できたてのビールを呑む。ビール党でなくても、たまらないひと時です。ここでもアテンドの女性社員の方から美味しい缶ビールの飲み方を教えていただきました。今日は教えて貰ってばかりです。決め手は、ずばり“泡”です。

試飲でいただいたスーパードライの黒生ビールが本当に美味しかったです。今まで私は黒ビールを美味しいと思ったことがなかったのですが、こいつは美味い。一人三杯までの制限が恨めしい。

■ジンギスカン食べ放題の巻



夕食は生ビール飲み放題&ジンギスカン食べ放題です。工場内にあるビール園の個室で美味しくいただきました。

ジンギスカンはジューシーでいて、かつあっさりしており、本当に生ビールに良く合います。本稿をご覧の皆さまでまだビール園に行かれたことがない方は、是非一度行くことをおすすめします。

商品が当たるゲームまで準備をしてもらい、これ以上はない経験でした。

■焼肉奉行の巻



食事の途中、私の隣席の中井会員から「もう野菜はいらん。俺は肉が喰いたい！喰いたいんや！」と高らかな宣言がありました。

そこからは猛烈な勢いで肉を焼き⇒配り⇒食べ、そしてまた肉を焼き⇒配り⇒食べるの繰り返しが行われました。肉の後にご飯ものが食べたいという私のリクエストに応じて、中井会員が鉄板でチャーハンを作ってくれました。

■次回??の巻

今回の見学会の実現にはアサヒビール株式会社に勤務の岩間会員が随分と骨を折ってくださりました。貴重な体験をすることができ、大変ありがとうございました。

ちなみにこの原稿を書いている1月5日現在、NHK朝の連ドラ「マッサン」が絶賛放映中です。ニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝氏(通称マッサン)の自伝的物語で、何事にも影響されやすい私の中で密かなウヰスキーブームが巻き起こっています。

しかも、ニッカウヰスキーはアサヒビール株式会社の100%子会社とのことです。これはもう何かの縁でしょうね。

次回はニッカウヰスキー余市蒸留所見学会は、如何でしょうか??

新入社員フォローアップ研修

将来を担う貴重な人財。

即戦力として早期に、プロ意識を身につける！

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会員 多田やす子

2014年9月5日(金)9:00~17:00 サンポートホール高松の会議室にて、新入社員を対象にフォローアップ研修を行いました。講師は山下益明先生、香川貴子先生、私の3名が担当しました。参加者は、香川県、愛媛県、岡山県から、調剤薬局、鉄工所、手袋製造、広告代理店などの異業種7名が参加されました。

研修内容

- I 社会人としての心構えと成長目的(講師：山下益明)
- II 困っていること、悩んでいることを掘り下げて考える(講師：多田やす子)
- III 組織活動・役割・管理の基礎(講師：多田やす子)
- IV 5S活動に基づく「気づき力」を高める(講師：香川貴子)
- V コミュニケーションの基礎(講師：多田やす子)
- VI 報連相の重要性(講師：香川貴子)

研修では、社会人としての心構えの再認識、日頃感じている問題への解決策、コミュニケーション・報連相の重要性などを学んでいただきました。研修中は、グループワーク内でのディスカッションの機会を増やし、自分自身の考えや思いを積極的に発言していただきました。またジェスチャーゲームを通して、人によって受止め方、連想するものが違うこと、価値観の違いなどを体感いただく機会をつくりました。

受講生からの振り返りシートには、すぐに現場に活かせる新たな知識が補充できたこと、さまざまな業種の受講生との交流を通して、恵まれた環境で仕事していることへの気づきと感謝など、研修に参加したことへの満足度の高いコメントをいただきました。

受講生間の交流を通して、改めて自分自身の仕事に対する取組み姿勢など、客観的な視点で振り返ることができたようです。

今回、新入社員フォローアップ研修の講師を担当させていただき、思考レベルの高い受講生の皆さまと接しながら、私自身の新入社員時代のフレッシュな気持ちを振り返ることができました。改めて、講師の機会をいただいたことに感謝いたします。

「異業種交流管理者研修」の報告

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
理事 川上 実

香川県中小企業診断士協会では『周りに気持ちよく動いていただいて、みんなで目標を達成させるとともに、人を育てる』人財をつくるために！』をキャッチフレーズに、異業種交流管理者研修を実施しています。

基礎編と実践編に分かれ、基礎編は2012年7月から始まり、今年(2014)9月で5回の実施となりました。基礎編の受講済者を対象とした実践編は、2013年11月に実施され、受講者はのべ85名となっています。

基礎編の研修カリキュラムは次のとおりです。講師はカリキュラムごとによります。

1日目	2日目
<ul style="list-style-type: none">・管理者として理解しておくこと・有効な管理活動を進める基本とは・管理者に不可欠なリーダーシップを発揮するために	<ul style="list-style-type: none">・管理者としての部下指導育成のあり方・強いチームをつくるために・5Sで差をつけ勝ち抜く



“異業種交流”という研修タイトルのとおり、いろいろな業種の管理者層が参加します。研修でのグループワークだけでなく、休憩や食事の時間をとおして交流が進んでいきます。

研修の最大の特徴は、夕食後のディスカッション(コンパ)です。約5名が1グループになり、夜遅くまで各宿泊部屋で議論します。テーマは「魅力ある管理者を考える」です。

お酒も多少入っており、打ち解けた雰囲気でありながら、真剣に語り合いが進んでいきます。

受講者の研修後の感想で多いのは次のような内容です。

- ・業種、職種の違いはあれど、共通の問題があると気付いた。
- ・普段出会うことのない異業種の方々とじっくり話すことができ、非常に参考になった。
- ・業種は違っていても「会社をよくしたい」という想いは一緒だった。
- ・異業種の方々からいただいた意見は新鮮なものばかりだった。
- ・「管理者」という職務が何なのか、明確になった。

このように、研修に対して「非常に役立った」と高く評価をいただいています。また、講師陣においても経験と交流の場となり、有意義なものとなっています。

今後の課題は、基礎研修だけにとどまるのではなく、それを発展させて実践編や上級編に繋げていくことだと思います。

引き続き、研修参加者の募集、また講師担当等皆さまのご協力をお願いします。

「四国ブロック会議」 in 愛媛

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
事務局 八木 知英子

「四国ブロック会議」が9月26日(金)に開催されました。ブロック会議とは、全国を8つのブロック(北海道・東北、北関東・信越、南関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄)に分け、隣接する県協会相互間における活動の情報交換を行うこと等を主な目的とする会議です。四国ブロックは四国4県で主催を持ち回っており、今年は愛媛県での開催でした。

東京本部からは福田会長、野口専務理事の2名がご臨席。愛媛県より東矢会長、上田副会長、門田副会長、山本事務局長の4名、高知県より宮田会長、森永専務理事の2名、徳島県より吉田会長、垣内理事の2名、そして香川県からは山下会長と八木の2名が出席しました。

本部報告として、診断士のブランド化への取り組みについて説明がありました。今後、各県の意向を踏まえたうえで具体的な内容を本部で検討し、ブランド化を進めていくとのこと。その後、各県協会活動状況報告があり、情報交換・意見交流が盛んに行われました。



ところで会場の愛媛県松山市道後では、ちょうど「道後オンセナート2014」というアートの祭典の開催期間でした。会議終了後、懇親会までの短い時間でしたが、会場近くのアートを皆で見学に行きました。町全体のにぎわいと幻想的な作品の印象があいまって、思い出に残る愛媛訪問となりました。

道後温泉本館「霧の彫刻」:

北ファサード一面に仕込まれたノズルから発生する霧が、本館の勇姿を幻想風景(?)へと変貌(アートの説明を参照しました)。

中国・四国エリア合同研修会



一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会員 荻田 勝司

例年開催されている題記研修会が、去る 10 月 26 日(日)に開催されました。

今回は香川県協会が主催し、岡山県協会から 7 名のご参加をいただき総勢 16 名にて、

- ①つばさキャビアセンター(東かがわ市引田 1850-2)
- ②徳寿工業(株)新田研究所(高松市新田甲 2190-1) の視察研修会が行われました。

個人的には、2013 年 10 月に診断士登録を行い、初めて協会主催の行事に参加したのが 2013 年の合同研修会でした。私にとっては思い入れのある研修会であるため、今回も参加した次第です。

最初の視察先は、「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2013」最優秀賞を受賞された「株式会社 CAVIC 東かがわ・つばさキャビアセンター」です。代表取締役 松田勝成氏の会社概要説明等の講話を拝聴した後、世界 3 大珍味の一つであるチョウザメの卵(キャビア)をとるために、廃校となった旧引田中学校の体育館やプールを利用したチョウザメの養殖場を見学しました。キャビアの加工・販売に至るトータルな提供は難しい現状において、国内でも希少なチョウザメ養殖場となり、香川県産キャビアを世界に向けて発信していく事業はまさに壮大なものでありました。

次の視察先は、「徳寿工業(株) 新田研究所」です。総括 下田辰雄氏の全天候型植物工場に関する講話を拝聴した後、残念ながら無菌施設となるため、植物工場外観のみ見学しました。見学の最後には、地域ブランドでもある「セレブママ・レタス」をお土産に頂戴し、翌晩のシーザーサラダは我が家においても大変好評でありました。

研修会後の懇親会は、視察先の株式会社 CAVIC さまの系列グループ「ガーデンレストラン 林の散歩」にて、キャビア料理を堪能。このレストランは西日本最大級の広大なドッグランを併設しており、愛犬と共にフレンチ料理を楽しめる・・・という贅沢な空間でした。

以上、わずか半日間の視察研修となりましたが、普段とは異なる岡山県協会の諸先輩診断士の皆さまと交流を図ることができ、大変貴重な機会となりました。

全体進行をしていただいた 笠居理事・川上理事・岡崎理事をはじめ、ご参加の諸先輩診断士の皆さまには、本当にありがとうございました。

管理者が身につけるべき財務力

～数字が分からないのに、本当の管理ができますか？～



高松商運株式会社 業務部 朝日新町営業所
真部 泰志

はじめまして。管理者課題別研修「管理者が身につけるべき財務力」に参加させていただきました、高松商運株式会社の真部泰志と申します。これまで数々のセミナーや研修に参加しましたが、その中でもかなり異色だと思いました。型にはまったセミナーや、知識を得るための講習が多い中、より実践的で「会計は管理職にも本当に必要な事なんだ」と、考えさせられることの連続でした。

研修に参加するきっかけは、まさに副題の通り、弊社社長から「数字が分からないのに、本当に管理ができますか？」という問いかけでした。私は現場での勤務しかなく、経理の経験はありません。会計については全く素人です。そのため、独学で会計を学んでも、簿記の基礎知識がないためか、漠然とした理解しかできませんでした。

また、今までは経験で部下のマネジメントを行っていましたが、経験だけの管理に正直限界を感じていました。そのような中、今回の研修は簿記3級から学び直したばかりの私にとって、とても貴重な時間を過ごすことができました。

P/LとB/Sの見方は、今までの自学の確認もできて大変勉強になりました。加えて、キャッシュフローの考え方を、どのような方法でP/LやB/Sにプラスして分析していくかが、最大の気づきとなりました。そして、息の長い組織を創るには、魅力ある仕組みづくりと健全な会計をしなくてはならないことを、しっかり頭に焼き付けられました。

私は管理職が会計の知識を身につけることで、部門の全体像を把握して指示を出すことができ、現場の人たちが同じ数値目標を持ったマネジメントができると感じています。

ところが、こんな大事な会計に苦手意識を持っている人も多いのです。私と同じように「勉強しなくてはいけないと思っているのだが、独学では理解できない。」と思っている人も多いでしょう。しかし、多くの方が苦手意識を持っている分野は、逆に一歩踏み出せばそれだけでビジネスパーソンとしての価値が上がると思います。

最後に、本当に皆さん熱かったです。この研修に参加されていた方々から刺激を受けて、「管理職として頑張ろう」という気持ちになりました。ここで知り合った講師の皆さまと受講者の皆さまは、私の宝物になりそうです。



(左)担当講師の
中井由郎会員



(右)ワークを交
えながらの研修



経営コンサルタント養成講座
～選択理論講座を受講して

(ブリリアント ユー)
株式会社 BRILLIANT YOU
多田 祐子

「人生変わるかもしれないよ…」このお誘いの言葉に強い魅力を感じ、受講させていただきました。お誘いくださったのは、山下会長です。なぜ、そんなに強い魅力を感じたかといいますと、実は、数年前の山下会長との出会いそのものが、私自身がスマイルコンサルタントとして本格的に活動するようになった、大きなきっかけの一つだったからです。

つまり、その方が「人生が変わるかもしれないよ…」とおっしゃったのです。講座の当日の気持ちといたら、なにに!?今度は、なにが起きるんだろう?そんな、ワクワク感でいっぱいだったことは言うまでもありません。

さて、気になる受講後の私ですが、結論から申し上げますと、「変わりました」。

まだ、受講して間もないので、今のところ「変わることが分かった」と、言った方が正しいかもしれません。

今回学んだ「選択理論」は、脳の働きの視点から「人は、なぜ、どのように行動するか」について説明したもので、自分の行動は、ほとんど自分で選択するという考えのものです。

自分の行動は、自分で選択できる・・・そんなことは、今回、わざわざ学ぶまでもなく、当たり前なことだと思っておりました。なぜなら、例えば、この週末、温泉に出かけようと自分で決めたとします。週末がやってきたら、予定通り目的地である温泉に行きます。行動を選択するのは自分だし、自分で実行するから実現する・・・。当たり前のことです。では、人は、なぜ行動するのか・・・。この答えが心の底から納得できたことが、今回の講座での大きな収穫でした。

選択理論では、基本的欲求を満たして、よい気分(健康、満足感、充実感、幸福感など)を味わうために行動する、と説明しています。基本的欲求には、愛し愛されたい欲求や、人の役に立ちたい欲求、人に強制されたくない、自由の欲求、楽しみたい欲求、食べたい、寝たいなど、生存の欲求の5つ。

例え話として、温泉に出かけることを挙げた私は、この5つの欲求の中で、楽しみたい欲求を最優先しているということになります。この「楽しみたい」という欲求を満たすために、内側から動機づけられて行動したわけです。講義の中で、“なるほど”と思ったことは、この5つの欲求の中で特に「愛し、愛されたい、仲間の一員でいたいという欲求を満たすことが重要であるということ。

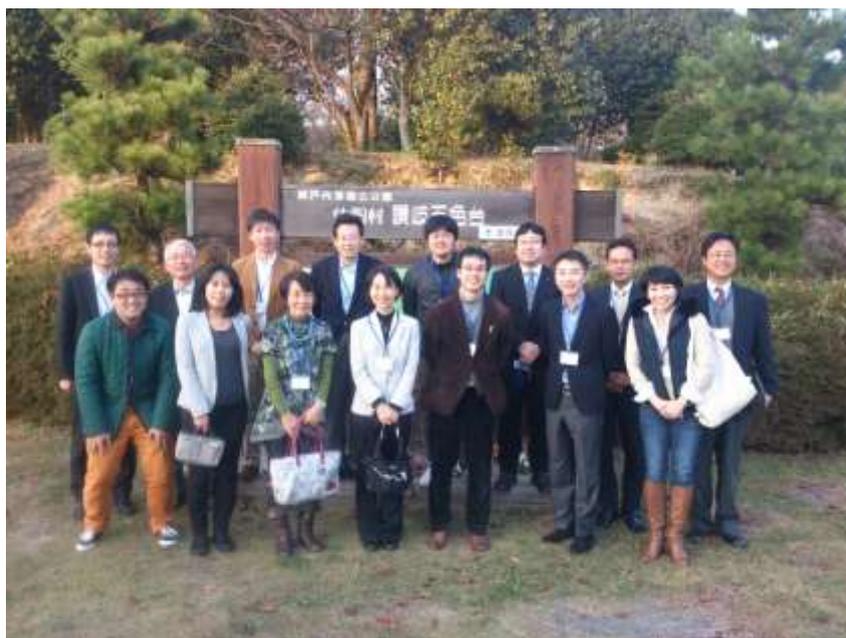
また、具体的な例をもとにすすめられた講義は、本当に分かりやすく、自分のこととして、すぐイメージできたこともとてもよかったです。

REGISTERD MANAGEMENT CONSURUTANT REPORT

受講者一人ひとりに、愛情を持って接して下さる講師のお二人は、まさに一番大切な「愛と所属」の欲求を満たしていただきました。

ところで「変わることが分かった」という理由ですが、それは「夢の写真」をつくったからです。ただ今、具体的になってきた夢に対して、そのギャップと問題点に真剣に向き合っています。

同じ講座で学んだ仲間、そしてすてきな講師のお二人、お誘いくださった山下会長に感謝申し上げます。ありがとうございます。



2日目参加者の集合写真



新入会員自己紹介

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会員 窪田 司

はじめまして、窪田 司(くぼた つかさ)と申します。岡山県出身、1983 年生まれです。中小企業診断士は 2010 年 4 月に登録し、岡山県中小企業診断士会に所属し、信用金庫に勤務しながら企業内診断士を 4 年間弱してきました。

香川県中小企業診断士協会へは、今年の春に入会をしました。それまでも経営コンサルタント養成講座や中国・四国地区合同研修会などに参加させていただいておりましたが、今年の独立を機に入会しました。

私が中小企業診断士を取得しようと思ったきっかけは、直属の上司から勧められたことと、若くても経営者の方の相談を受けられるビジネスパーソンになりたいと思ったことです。その後、企業内診断士として 4 年弱の経験を経て、自分自身がやりたい仕事としてはっきり経営コンサルタントを意識し、現在に至ります。

さて、私の経歴を少し書かせていただくと前職である信用金庫において経営企画部門が 5 年、人事部門が 3 年といった経験を積ませてもらいました。この経験を通じて「戦略」だけ、「組織」だけといった切り口では企業は動かず、やはり、「戦略」と「組織」の両輪を動かすことが企業を動かすことになると思います。

香川県中小企業診断士協会の活動で特に印象に残っていることは、経営コンサルタント養成講座です。3 年前に初めてこの講座に参加したときに自分の考え方の甘さに愕然としたことを昨日のこのように覚えています。そしてこの講座の講義はもとより、食事中、懇親会中のさまざまな場面において講師・参加者の皆さまからプロの経営コンサルタントとしての考え方や活動の仕方を教えていただいたと感謝しています。

今後は、私の理念である『後世に誇れる地元企業をつくる』の実現を目指して日々研鑽に励んでまいります。香川県中小企業診断士協会の皆さまからのご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。今後ともよろしくお願いいたします。



新入会員自己紹介

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会
会員 西岡 昭彦

皆さんはじめまして、1970年生まれの坂出市出身、愛知県在住の西岡昭彦です。地元の坂出市をはじめとした香川県民の皆さんのために尽力したい…という思いから、起業を契機に香川県中小企業診断士協会に入会させていただきました。

診断士になろうと思ったきっかけについて、お話をさせていただきます。理系の大学院を卒業後、愛知県内にある自動車関係の大手メーカーに商品開発設計者として勤務していました。近年、機能に優れていることはもちろん、ばらつきが少なく作りやすい設計が必要とされるようになってきました。また価格面においても、材料費や加工費などを極限まで抑えた設計がますます求められるようになってきました。その中で設計ノウハウはもちろん製造ノウハウなどを社内でたくさん学ぶことができました。それと平行して、お取引先に品質向上や単価値下げについて協力してもらっているうちに、経営課題や生産課題などについてお取引先と一緒に対策案を考え、実行、評価するようになりました。

いつの間にか経営コンサルタントのような業務をしていることに気がつき、お取引先以外の企業にも幅広くお役に立ちたいという思いをいただくようになったのがきっかけです。

現在は、中小企業診断士試験の知識に加え、さらに深く知識を習得することを心がけています。元々が技術者なので技術系の資格をいくつか持っていますし、生産現場改善も得意分野であることに加え、それまで得意分野でなかった販売士(日本商工会議所認定)の資格も取りました。今後もさまざまな知識を習得しながら、すべての提案に論理的な説明ができるようになりたいと思っています。

ところで、私の周囲の製造業経営者は技術一筋で家族を顧みない方が多く、従業員からは尊敬されているようですが、家族からは疎まれていられる存在の方が多いことを知りました。さらに、後継者に会社を譲ったあとも、日々の過ごし方がわからず社内の片隅の作業場で一日を費やす方が多いことも知りました。一線を退いた方たちには、今まで以上の生きがいを見つけて、より充実した人生を過ごしていただきたいという思いから、いろいろなカウンセリングやコーチングを学びました。

そこでたどり着いたのが、「従業員から尊敬され、家族からも愛されるように、顧客を全力でサポートします。」という経営方針です。経営の悩みについては、ワンストップコンサルティング®により論理的に解決し、人生の悩みについては、エンリッチライフコーチング®により論理的に解決することを目指します。

今後は、皆さまのご指導をいただきながら、いろいろな保有資格の知識や経験を生かして、地元坂出市をはじめとした香川県民の皆さんのお役に立つことができるように尽力したいと思っています。よろしくお願いたします。

診断かがわ第64号(新年号)

2015年1月日発行

一般社団法人 香川県中小企業診断士協会

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 15 香川産業頭脳化センター402 号

TEL 087-814-6456 FAX 087-840-0321

ホームページ <http://www.shindan-kagawa.org/>

メールアドレス mail8@shindan-kagawa.org

発行人 会長

山下 益明

編集人 広報企画事業部

梅澤 秀樹

“ ”

立川 敦史

“ ”

溝渕 善彦

“ ”

森 昭博